

新型フォレスター 開発ストーリー



株式会社SUBARU

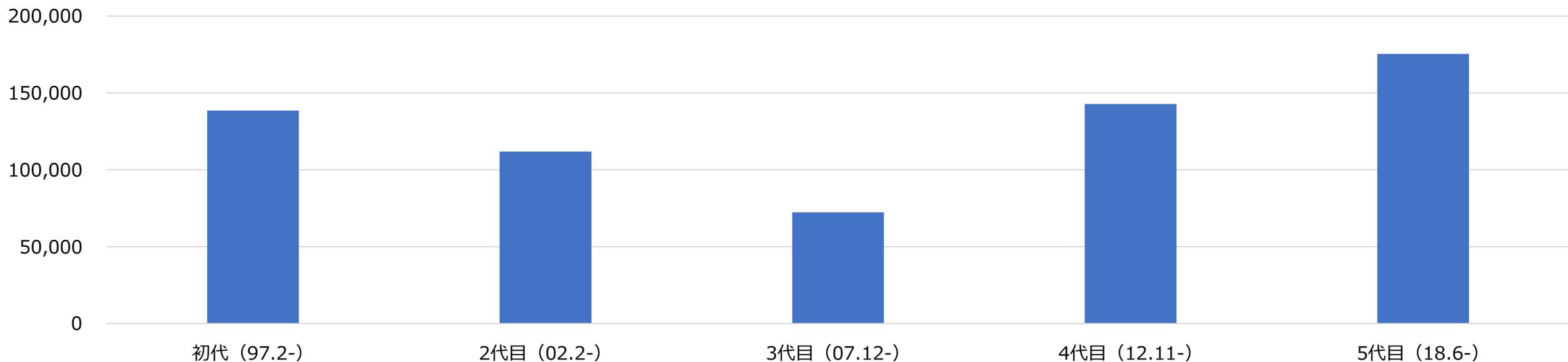
商品事業本部

プロジェクトゼネラルマネージャー

只木 克郎

歴代フォレスターの日本国内の販売推移

- 乗用車とSUVのメリットを掛け合わせた新しい車として97年にデビュー
- フォレスターは時代に合わせて進化を重ね、お客様のライフスタイルに寄り添い続けました



乗用車とSUVのメリットを掛け合わせたパッケージングを提案



SUVにフォレスターらしい走る楽しさと安心を提案



アクティブライフを実現するためのクルマとして本格派SUV路線へと進んだ3代目フォレスター



「SUVとしての本質的な価値の実現」というコンセプトのもとに、基本性能を進化。



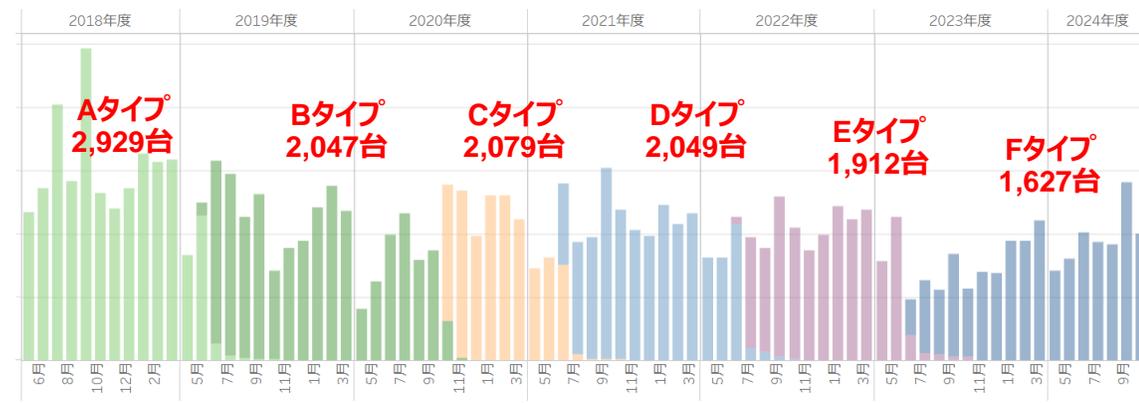
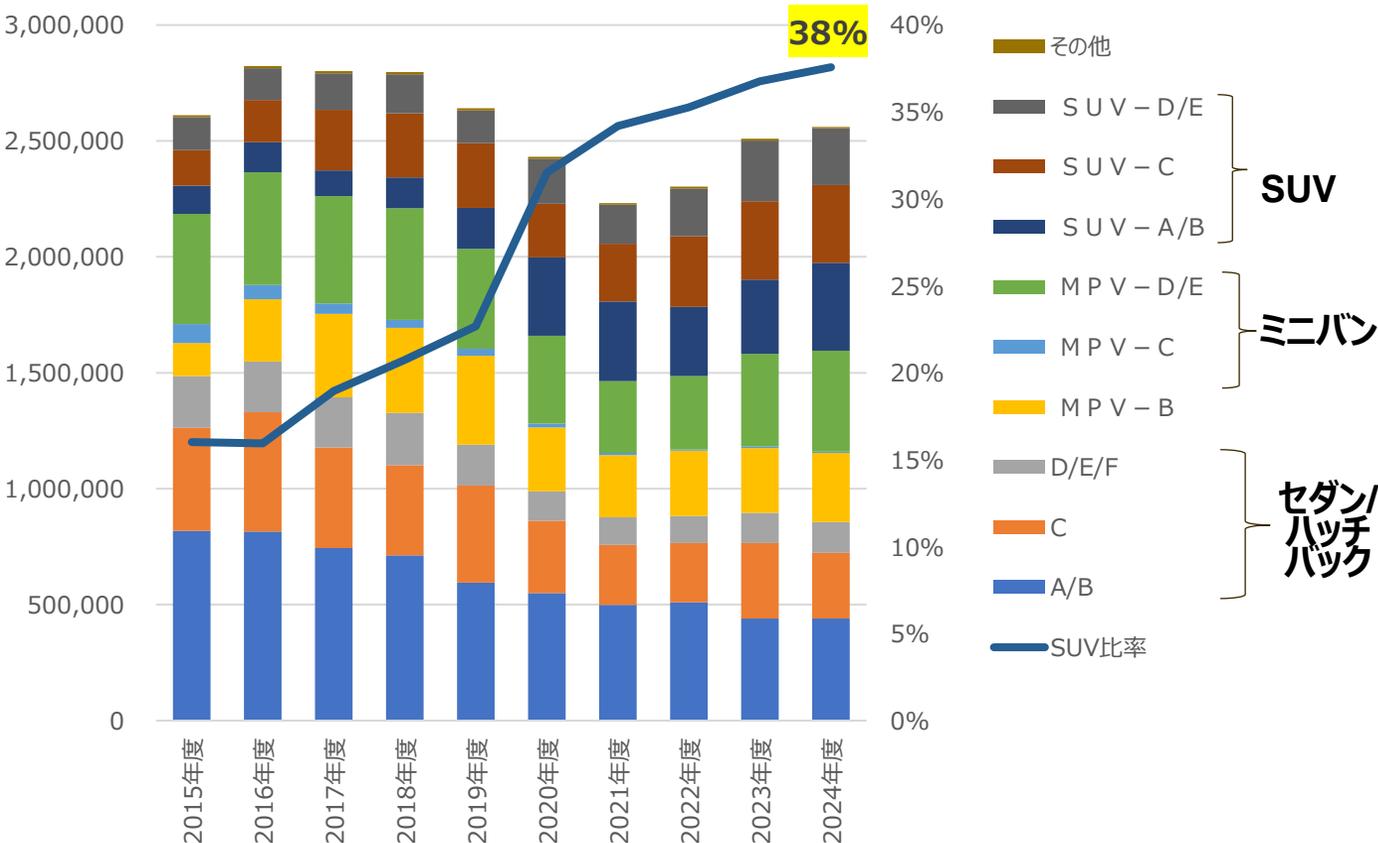
国内量販車種として成長。SUBARUらしいハイブリット「e-BOXER」を搭載

日本市場概況とフォレスターの位置付け

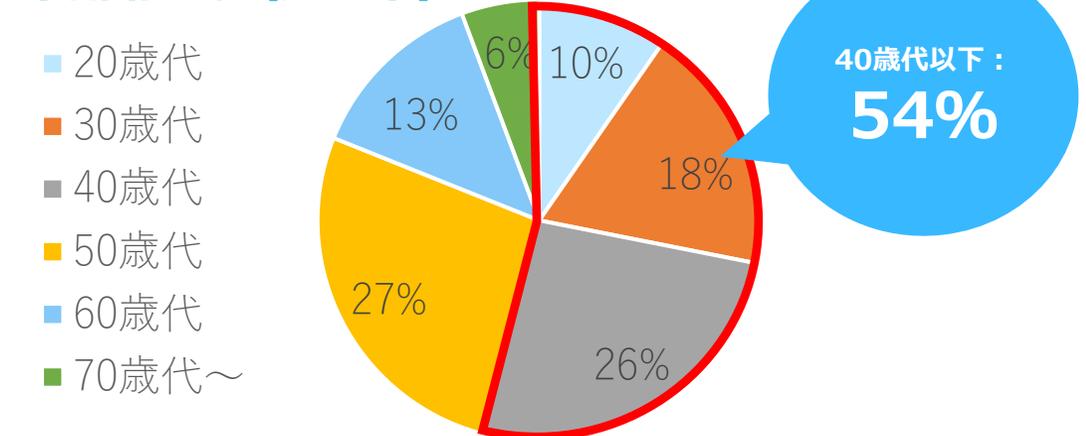
- SUVの販売構成比は年々伸長しており、24年度で**38%**まで拡大
- 先代は直近1,800台/月販売、SUBARUラインナップの中でも他銘流入が多く、また若年層やファミリー層の取れる間口の広い車種 ⇒**今後のSUBARUの持続的成長のカギとなる商品**

国内登録車販売台数推移(2015～2024年度)

先代フォレスター販売（受注実績/導入～24年10月まで）



年齢構成（近2年）



新型フォレスターの受注状況

- 4月3日より受注を開始し、1か月間の累計台数は11,455台
- キャラクターが異なるグレードがあり、選べる選択肢が多いのも特徴
- 旧来モデルに引き続き、ファミリー層からの支持がある

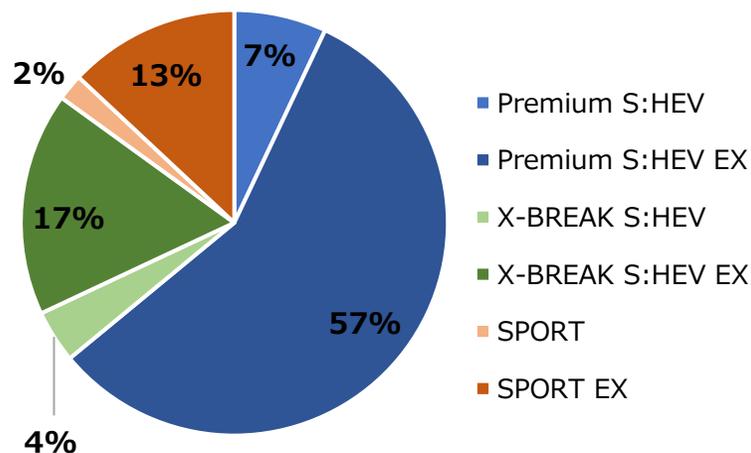
新型フォレスター受注状況



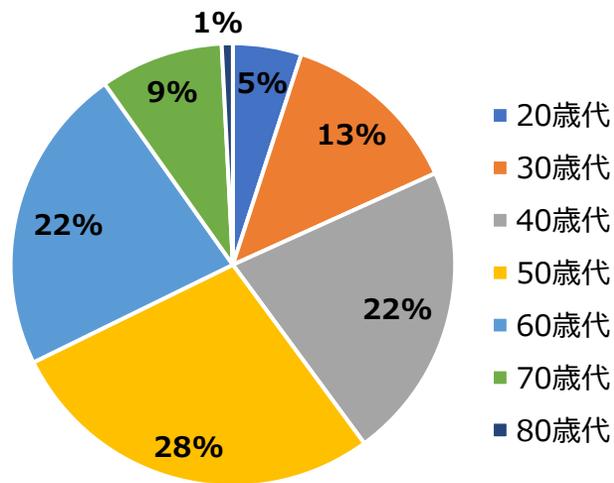
フォレスター (SL型)
2025.4.3~4.30

11,455台

【グレード比率】



【年齢構成比率】



※参考：直近過去実績（受注開始後 1か月間）



フォレスター (SK型)
2018.5.18~6.17

3,866台



クロストレック (現行型)
2022.11.11~12.10

3,355台



レヴォーグ (現行型)
2020.8.20~9.19

5,743台

SUBARUのラインナップの中で正統派SUVと位置付け、競合ひしめくSUV市場において、より強い存在感発揮を目指す。

SUBARUの正統派SUV



FORESTER



CROSSTREK

サイズ感



LAYBACK

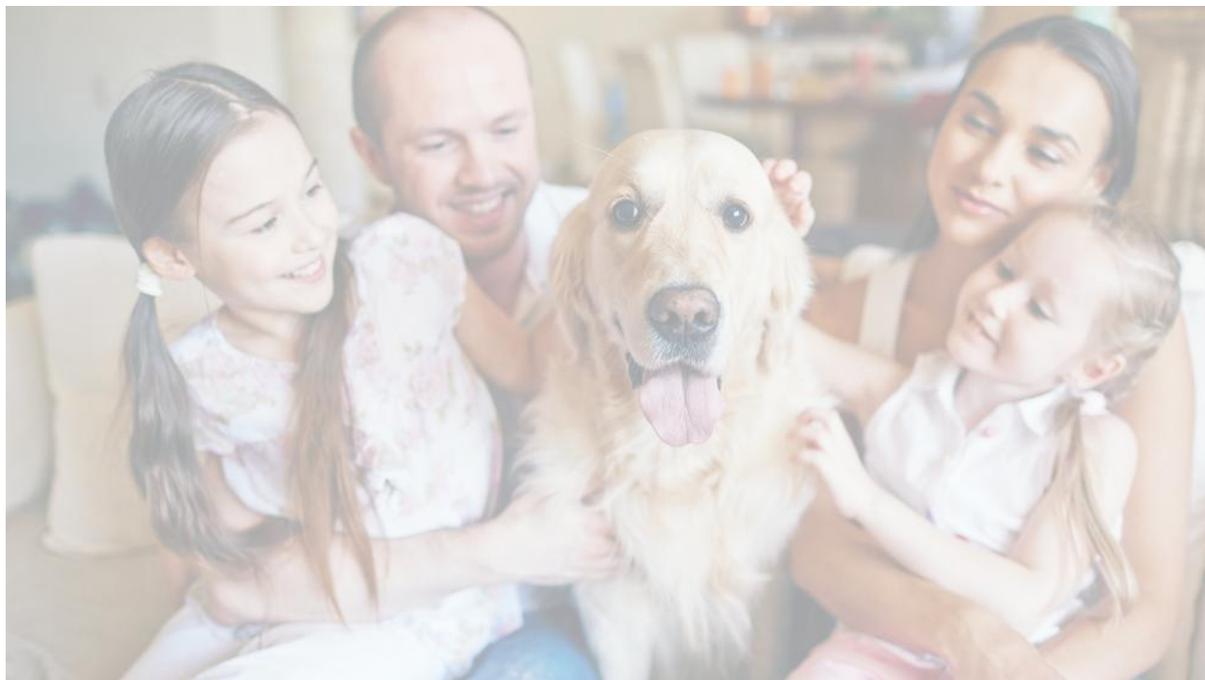


REX

よりアウトドア用途との両立を重視

より都市生活用途を重視

SUBARUのお客さまは、好奇心旺盛でアクティブかつ、社会や自然への共生意識が高い人々。新型フォレスターでも同様に、これまで支えてくださっている自銘層に加え、より若いファミリーにアプローチする。



堂々たる安心感あるたたずまい
— 乗員が守られ、かつ、安心して、どこへでも行けそうな、The SUV —

強化領域

SUVとしての
本質的な価値を
表現するデザイン

強み領域

正統派SUVとして
性能面のさらなる進化

Ready for Adventure

「いつでも冒険に出られる頼れるGEAR」「挑戦したい、達成したい気持ちにさせる」

新型 FORESTER の個性を際立たせる3つのデザインキーワード

Fun to Challenge

アスレチックで頑丈なボディで、安心してどこへでも行ける性能の高さを表現する



Cool & Adventurous Looking

カテゴリー、車格を越えた強さで、頼りがいのある堂々とした存在感を表現する



Seamless Experience

高性能かつクリーンなデザインで、都市から大自然まで垣根無く使える感じを表現する



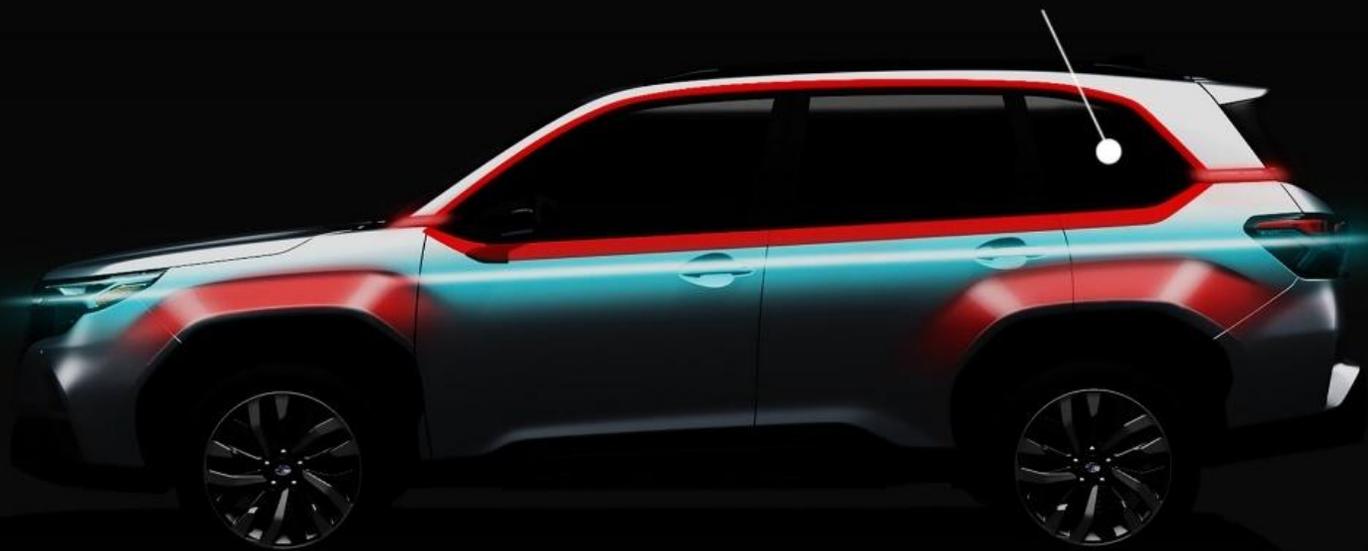
堂々とした安心感ある SUVらしいプロポーションで、 量感と頑丈さを全方位で追求

ヘッドランプとグリルを軸の通った連続デザインとして、
寸法以上のワイド感で堂々とした佇まいを表現



ヘッドランプよりも車両外側、低い位置に
縦のライナーを配置して、ワイドさと踏ん張り感を強調

視界、容積など高い実用性を感じさせる
リアウインドウエリア



ボディにはキャラクター線では無く、シンプルで強い断面をしっかりと通し、
強い骨格感と共に、フェンダーのたくましさも強調して、安定感と走破性を表現

**フォレスターの強みをデザインで表現することを常に優先（主）し、
強みを最大限に維持（従）することを軸に開発を推進する**

従来

性能要件を定量化して、その寸法制約の中で如何に新しいデザインが実現できるかを検討

今回

表現したいデザインをまずは示し、背反課題の克服を是々非々で議論して実現



4th GENERATION



5th GENERATION



6th GENERATION

2つの要素を軸として正統派SUVとして商品価値を向上

強み領域

正統派SUVとして性能のさらなる進化

Grow with Them

家族や子どもの成長と一緒に
使い続けていける



Seamless Experience

日常から非日常まで1台でさまざまな
シーンをサポート



いつでも、どんな場面でも、使う人の期待に応える

Grow with Them

家族や子どもの成長と一緒に使い続けていける

家族と安心して快適に過ごすことができ、時間が経過してお客さまの行動や用途が変わっても、期待に応え続ける懐の深さ



Seamless Experience

日常から非日常まで1台でさまざまなシーンをサポート

毎日の生活と、アクティビティを愉しむ休日、その両面を支える機能的な価値を包含
活動的なライフスタイルに寄り添い、日常と非日常をシームレスに横断できるクルマを実現

日常領域



毎日の出勤、買い物やちょっとした外出

非日常領域



キャンプやスキーなどのアクティビティ



日常・非日常で使い勝手のよさが
変わらずシームレスに使える

頑丈で安心感ある 力強い立体構成 高品質を追求した造り込まれた素材表現

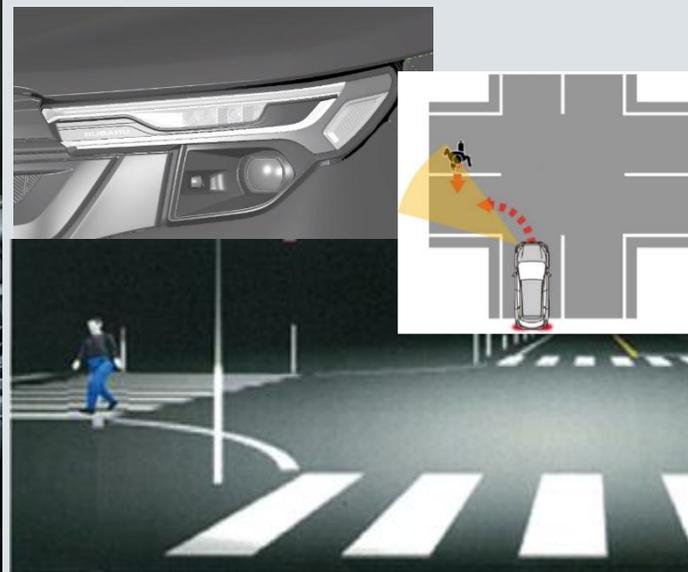
インパネからドアへ、色の切り替え線やシルバーの加飾を繋ぐ「線」の表現ではなく、影面を活かした厚みを感じる立体を通し、衝突性能に裏付けられた安心感を表現



三角窓の継続採用
とドアミラーボディの小型化による
斜め前方視界確保

ワイパーが見えないすっきりとした
前方視界

コーナリングランプ°



夜間に歩行者、自転車を早期に発見

エンジンフードの左右端を下げ
斜め前方の視界を確保

エンジンフード先端から後端までしっかりと
確認でき、車両感覚がつかみやすい

カテゴリトップクラスの開口寸法の確保、キックセンサー方式のリアゲート開閉機能、ユーティリティナットなどにより、自由度と利便性の向上を実現



商品概要

◆カーゴルーム

実際の使われ方を想定して、純正アクセサリーを開発
新設計のユーティリティフック、これと他のアクセサリーと組み合わせて、
用途に合わせて使い勝手を広げる事ができる

ユーティリティフック



ユーティリティバー



カーゴセルフボード



最新の安全技術で死亡交通事故ゼロに向けて前進させると共に、幅広いお客様に安心を感じてもらえる動的質感を目指した

安全性能

- EyeSight
- 高度運転支援システム
- コーナーリングランプ
- サイクリスト対応歩行者保護A/B
- ドライバー異常時対応システム
- テレマティクス

2030年に死亡交通事故*
ゼロを目指し、

**お客さまに最高の
安心・安全を提供**

動的質感

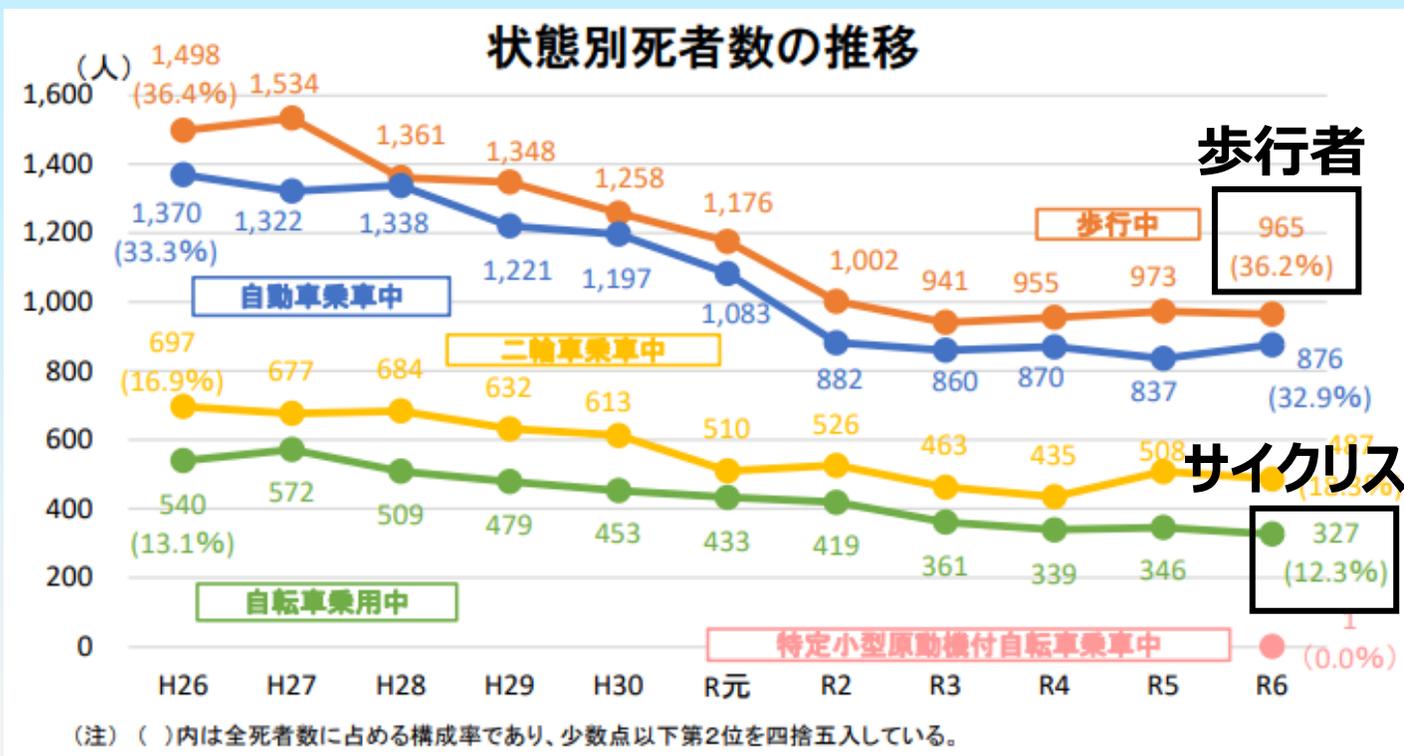
- ダイレクトで自然な操舵感
- 高速時でも安心感のある走り
- さまざまな状況でも意のままに操れる
- 不快な揺れを少なくするフラットな乗り心地のシート
- 高い静粛性と上質な操安乗り心地

*: SUBARU車乗車中の死亡事故およびSUBARU車との衝突による歩行者・自転車などの死亡事故をゼロに

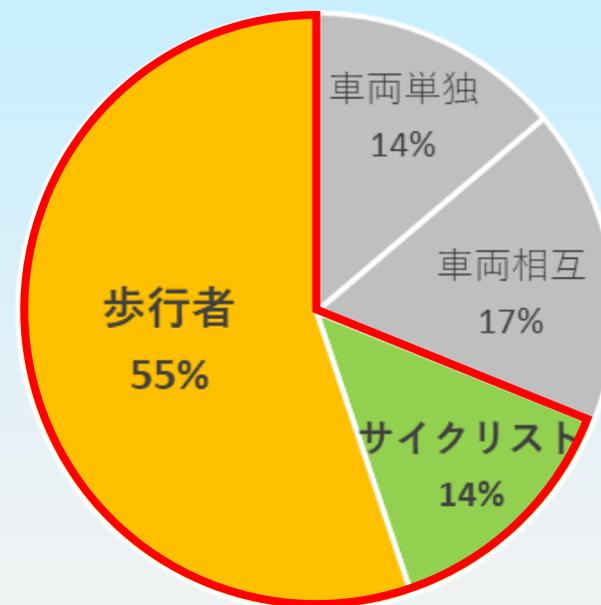
日本の事故実態調査

<死亡事故調査>

- 日本の交通事故死では、歩行者の割合が大きく、自転車も1割を超える。
- SUBARU車においても、歩行者・自転車の割合が大きい



直近5年間 事故死亡者割合 (SUBARU車)



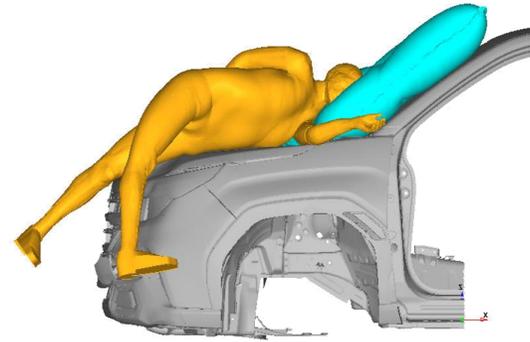
公益財団法人交通事故総合分析センターのデータを基に
SUBARUが独自に算出

警察庁交通局
令和6年における交通事故の発生状況について 抜粋

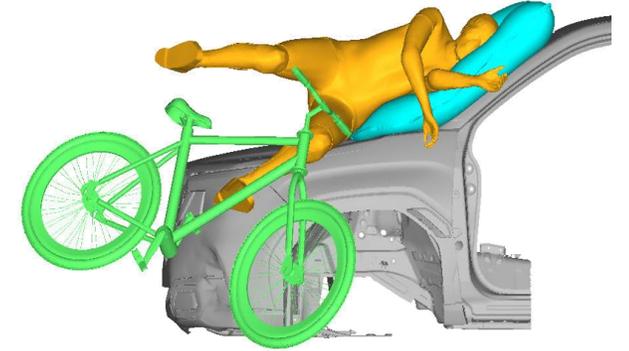
歩行者の受傷が最も多い頭部を保護する事で、被害を軽減させる
歴代車種で培った開発知見を活かすと共に、歩行者との衝突事故ケースに加え、
サイクリストとの事故ケースも想定して、エアバッグによる保護エリアを拡大



新開発したサイクリスト対応歩行者保護エアバッグ



歩行者の場合



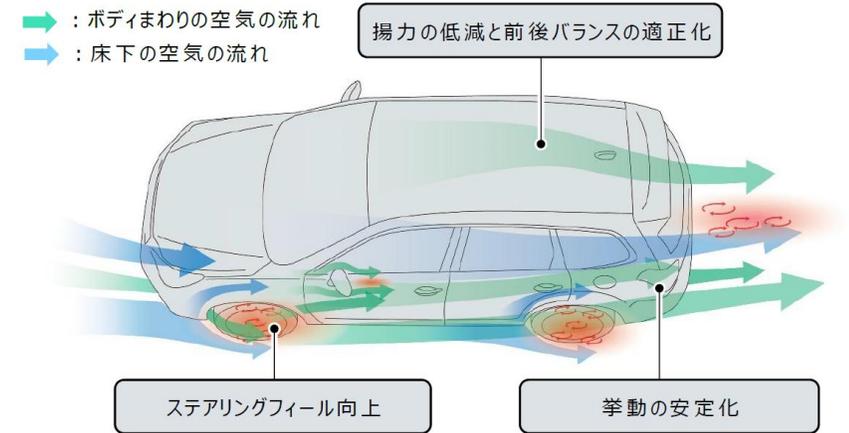
サイクリストの場合

頭部干渉位置の差

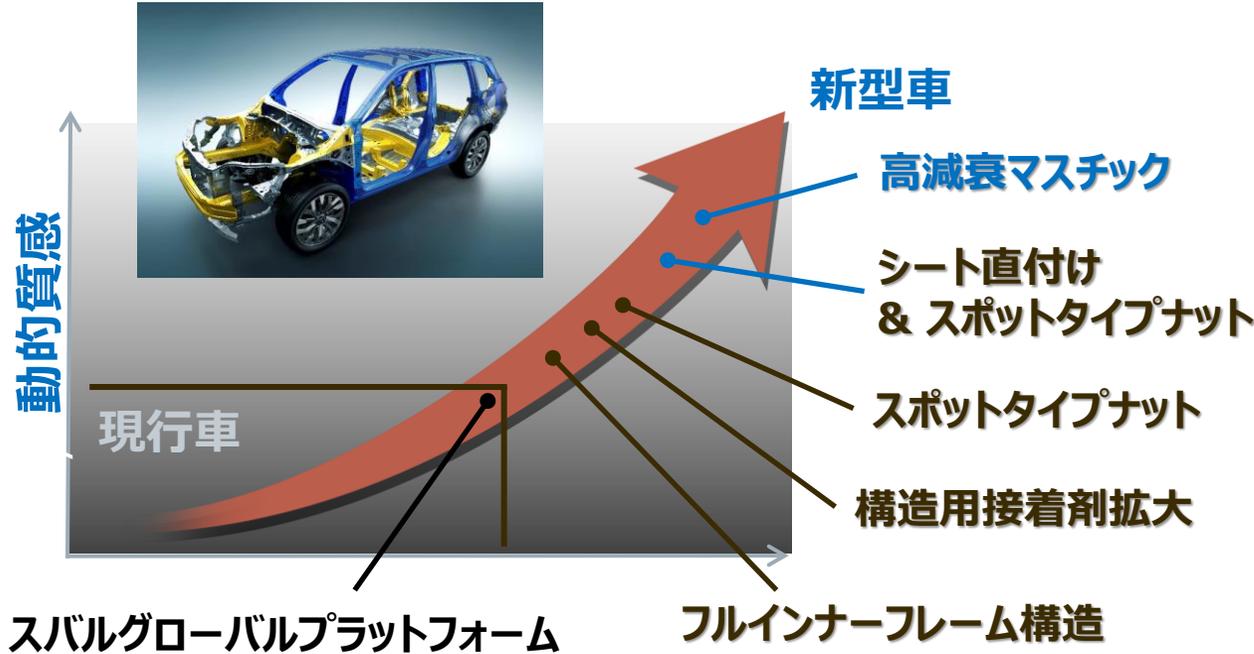


スバルグローバルプラットフォームを更に磨き上げ、空力技術も活用して、高い動的質感を実現

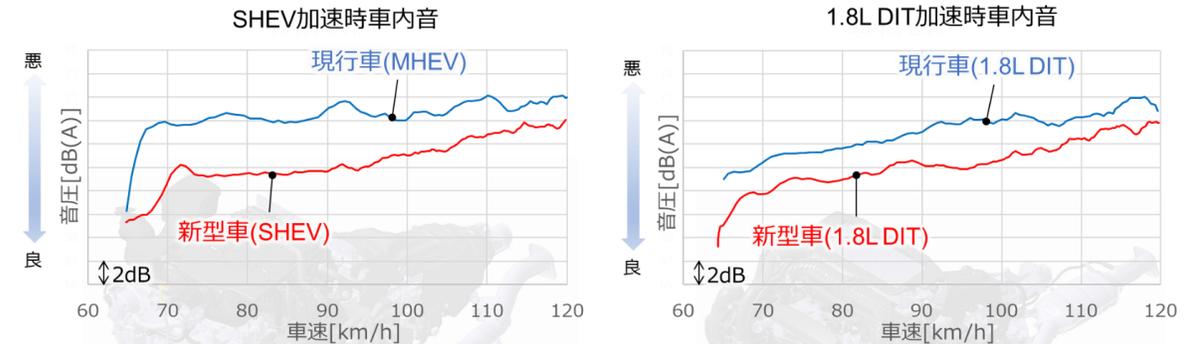
- ▶ さまざまな状況でもクルマを意のままに操れる
- ▶ 高速時の安心感ある走り、低速時の上質な乗り心地
- ▶ 快適なロングドライブ、会話しやすい室内空間を提供



空力技術の活用



動的質感の進化

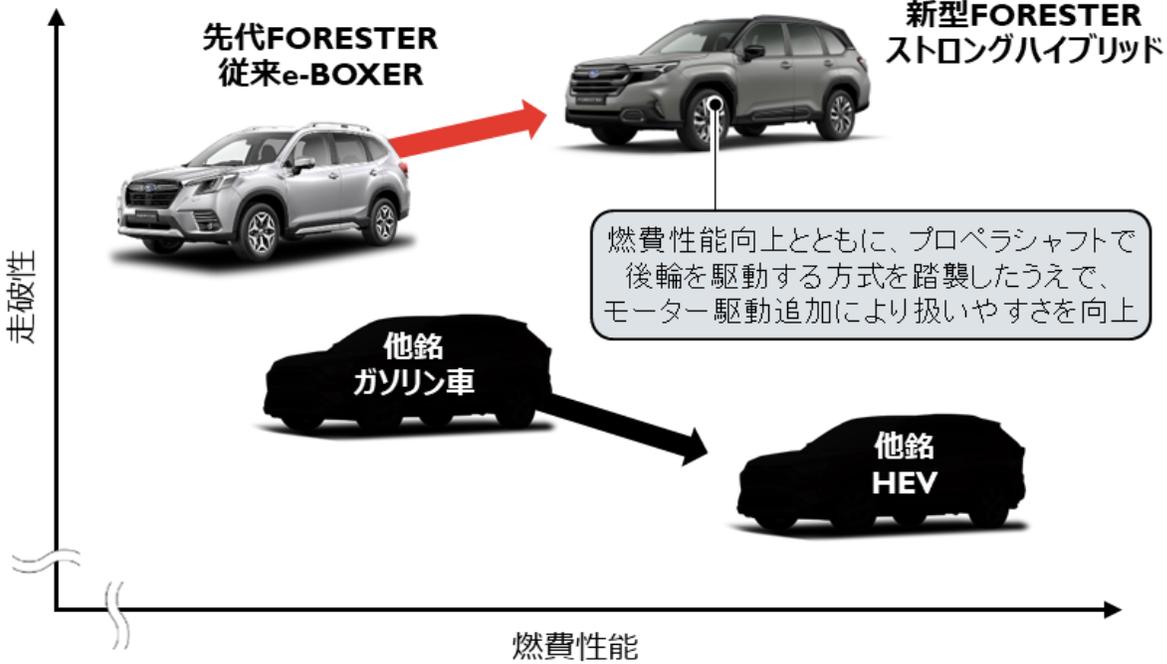


静粛性の向上

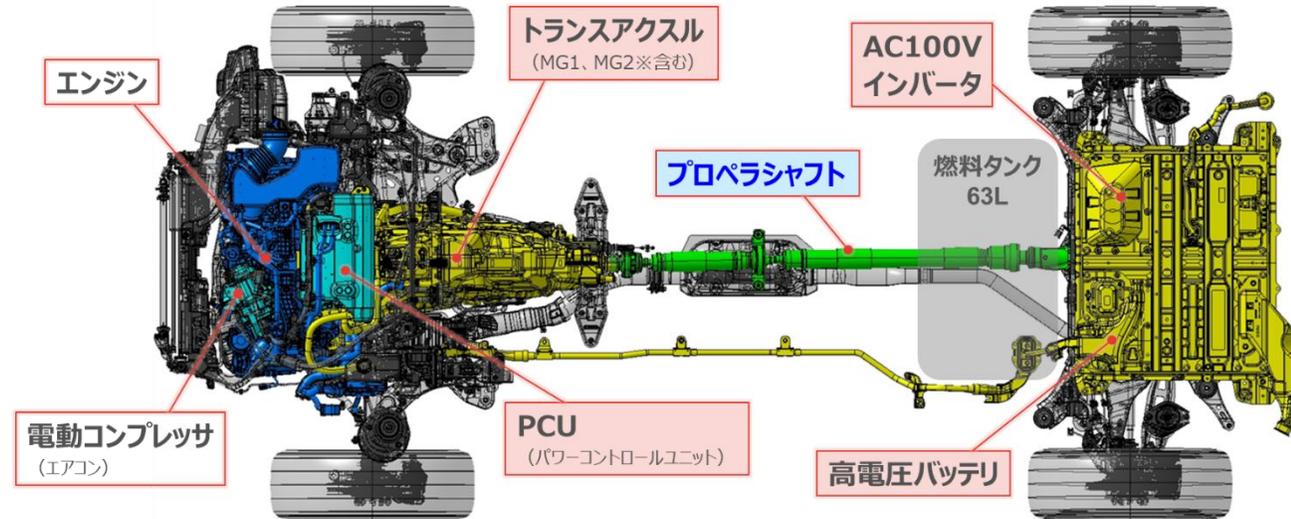
商品概要

◆ストロングハイブリッドの方向性

シリーズ・パラレル方式を採用すると共に、スバルならではのAWD技術を継承。モータ駆動との組合せで走破性をさらに高め、スバルらしいストロングハイブリッドを実現した。また、大容量の燃料タンクを備える事で、航続可能距離を延ばし利便性を高めた。



方向性イメージ



システム構成

コンパクトで扱い易い外寸と広い室内空間&荷室の維持に拘り、一部諸元値の見直しに留めた。

	先代	新型
		
全長	4640mm	4655mm (+15mm)
全幅	1815mm	1830mm (+15mm)
全高 ※ルーフレール付	1730mm	1730mm
ホイールベース	2670mm	2670mm
最低地上高	220mm	220mm
タイヤサイズ	225/60R17、225/55R18	225/55R18、235/50R19
パワートレイン	現行e-BOXER 1.8L DIT	ストロングハイブリッド 1.8L DIT

幅広いお客様のニーズに応えられる3グレードをラインナップ

“本格アウトドア仕様”を求める層

2.5L ストロングハイブリッド

X-BREAK



“上質感”を求める層

Premium



“ターボらしい”走りを求める層

1.8L DIT

SPORT



より自然との
共生を望む

より都市生活との
両立を望む

最後に



よりSUVらしく、力強く、機能性伝わる存在感ある外観スタイリング
日常と非日常をシームレスに使える高い実用性
家族の成長により用途が変わっても使い続ける事ができる懐の深さ
そしてスバルならではの安心と愉しさ

